

令和8年度(2026)
年間授業計画
第三学年



教科	科目
国語	論理国語
	古典講読
	古典演習
地理歴史	地理探究
	日本史演習Ⅰ
	日本史演習Ⅱ
	世界史演習Ⅰ
	世界史演習Ⅱ
公民	倫理
	政治経済
数学	数学Ⅲ
	数学C
	文系数学演習
	理系数学演習
理科	化学
	生物
	物理演習
	化学演習
	理科基礎演習Ⅰ（物理）（化学）（生物）
	理科基礎演習Ⅱ（生物）（地学）
体育	体育
外国語	英語コミュニケーションⅢ
	論理表現Ⅲ
	英語特講
情報	情報演習

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	国語・論理国語	2単位	対象学年	高校3年
教科書	筑摩書房 論理国語		教科担当者	
副教材	・ちくま現代文記述トレーニングテーマ理解×読解×論述力（筑摩書房） ・読解力と読解力をつける現代文単語（数研出版） ・新編意味から学ぶ読出漢字3000（第一学習社） ・2027共通テスト対策実力養成重要問題演習現代文（進研学参） ・共通テスト対策新しい第3の現代文集中完答11（尚文出版） ・共通テスト＋センター試験 国語過去問題 平成30～令和7年 現代文（尚文出版） ・トータルサポート新国語便覧（大修館）			

目標	【A：知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深めている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	【C：学びに向かう力、人間性等】 近代以降の優れた文章や作品を読解し鑑賞する力を高め、作品の主題や現代の課題を見出し、人間や社会のあり方について考察する力を養い、自ら進路を切り開く。
----	--	--	--

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一学期	「ビジンという生き方」 「『自然を守る』ということ」 「貨幣共同体」 「つながりと秩序」	26	・筆者の主張、問題提起を通じて、今日的な課題について理解を深める。 ・心情表現や比喻表現に着目し、人物の言動の意味や心情を理解する。 ・文章の展開や表現を把握する。	○	○	○	定期考査、課題、小テスト発表 など
二学期	「ポピュリズムとは何か」 「日本文化私観」 「何のための『自由』か」 「ものごとこと」 共通テスト過去問題・対策問題演習	30	・的確に読解した上で自ら考えたことを、明確な文章として表現する。 ・初見の文章の読み方や解答の書き方を習得する。 ・過去に出題された共通テスト問題を解き、入試に対応できる力を養う。	○	○	○	定期考査、課題、小テスト発表 など
三学期	共通テスト過去問題・対策問題演習	14	問題を解きながら、必要事項を整理・確認し、大学入学試験に備える。	○	○	○	
		合計					
		70					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	国語・古典講読	2単位	対象学年	高校3年
教科書	筑摩書房 古典探究 古文編・漢文編	教科担当者		
副教材	・トータルサポート新国語便覧（大修館書店） ・高校生の古典文法七訂版（啓隆社） ・四訂版古文単語330（いっずな書店） ・新版大学共通テスト準備演習古文・漢文編（数研出版） ・古文攻略マストアイテム76 改訂版（桐原書店） ・三訂版体系漢文（数研出版） ・新演習古典アテープ4（桐原書店）			

目標	【A：知識及び技能】 伝統的な言葉の知識を身につけ、生涯において豊かな言語生活を送れるようにする。	【B：思考力、判断力、表現力等】 古典を通し先人たちのものの見方や考え方を知り、自分の考えを深めたり広めたりする。	【C：学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって古典に親しみ、自己を向上させ言語を用いて他者とのかかわる姿勢を育む。
----	--	--	---

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一学期	「今昔物語集」驚にさらわれた赤子 「枕草子」里にまかでたるに 「源氏物語」車争ひ、母子の別離 「断腸」 「螳螂之斧」 「詩經大序」	26	・場面や情景、人物の心情に着目しながら具体的にイメージすることができるようにし、長い文章を読解する力を養う。 ・当時の社会や価値観についての理解を深める。 ・敬語表現から主体や敬意の方向について確認することで、物語に登場する人物とその関係性を正確に捉えることができるようにする。	○	○	○	定期考査、小テスト、授業内発表 提出物 グループ発表 など
二学期	「和泉式部日記」夢よりもはかなき世の中を 「建礼門院右京大夫集」なべて世の 「大鏡」肝試し 「源氏物語玉の小櫛」もののあはれ論 「桃夭」 「長恨歌」 「勿頭之交」 「離魂記」	30	・古典の表現に慣れ親しむとともに、当時の文化や風習、人々の人生観などを理解する。 ・文章の読み方や解答のしかたを習得する。 ・過去に出題された大学入試問題を解き、入試に対応できる力を養う。	○	○	○	定期考査、小テスト、授業内発表 提出物 グループ発表 など
三学期	大学入試過去問題演習	14	問題を解きながら、必要事項を整理・確認し、大学入学共通試験に備える。	○	○	○	
		合計					
		70					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	国語・古典演習	2単位	対象学年	高校3年
教科書	筑摩書房 古典探究 古文編・漢文編	教科担当者		
副教材	・トータルサポート新国語便覧（大修館書店） ・高校生の古典文法七訂版（啓隆社） ・四訂版古文単語 330（いづな書店） ・新版大学共通テスト準備演習古文・漢文編（数研出版） ・古文攻略マスタイトム 76 改訂版（桐原書店） ・三訂版体系漢文（数研出版） ・共通テスト＋センター試験 国語過去問題 平成30～令和7年 古典（尚文出版） ・2027共通テスト対策実力養成重要問題演習 古典（進研学参）			

目 標	【A：知識及び技能】 読解・問題の演習を通して、重要語句や表現、文法の整理と定着を図り、内容理解を深めて、入試古文に対する基礎的・応用的な学力をつける。	【B：思考力、判断力、表現力等】 古典を通し先人たちの思いを知り、それを自らに投影し思考することができる。また、自分の言葉でそれを表現することができる。	【C：学びに向かう力、人間性等】 自らが必要とする知識を見極め、自分のものとするよう努める姿勢がみられる。
-----	---	---	--

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	共通テスト対策	25	1・2年時で学習した古典読解上の基礎知識を確認しながら、問題演習で応用することで完全な定着を図る。	○	○	○	定期考査、授業態度、小テストなど
二 学 期	共通テスト対策	30	1・2年時で学習した古典読解上の基礎知識を確認しながら、問題演習で応用することで完全な定着を図る。	○	○	○	定期考査、授業態度、小テストなど
三 学 期	共通テスト対策	15	1・2年時で学習した古典読解上の基礎知識を確認しながら、問題演習で応用することで完全な定着を図る。	○	○	○	定期考査、授業態度、小テストなど
		合計					
		70					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	地理歴史・地理探究	3単位	対象学年	高校3年
教科書	『地理探究』東京書籍 『新詳高等地図』帝国書院		教科担当者	
副教材	『資料地理の研究』帝国書院 『データブックオブザワールド』山川出版社 『ウィニングコンパス 地理の整理と演習』とうほう			

目 標	【A：知識及び技能】 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	【B：思考力、判断力、表現力等】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	【C：学びに向う力、人間性等】 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。
-----	---	---	--

学 期	単 元	時間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	第1部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 2章 資源と産業 3章 交通・通信と観光、貿易 4章 人口、都市・村落 5章 生活文化、民族・宗教	39	自然と人間の関わりについて、自然災害や環境問題とも関連付けて理解させる。食料を生産し、物を作り、知識を創造し、サービスを提供しあうなど、さまざまな産業で働いていることを認識させる。 〈学校で学習すること〉生徒の取り組んだワークシートと白地図を利用して演習形式の授業を行い、読図能力向上と、地形と気候から災害や環境と人間生活の関わりを学ばせる。 〈家庭で学習すること〉地図に関する基礎的内容をワークシート等の課題で学習。資料集別冊の白地図で各地形と気候の特徴と土地利用の関連を学習させる。	○	○	○	定期考査の成績に平常点を加味して評価する。 平常点は、課題等の提出状況・内容や日常の授業への取り組み姿勢をもってあてる。
	第2部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の諸地域 ・東アジア ・東南アジア ・南アジア ・西アジアと中央アジア ・アフリカ ・ヨーロッパ・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア	45	世界の諸地域の実態を現代世界の最新の動きに注意させ、理解させる。 〈学校で学習すること〉生徒の取り組んだワークシートと白地図を利用して演習を行い、世界の諸地域の人間の生活とその地域の環境や文化との関わりを学ばせる。 〈家庭で学習すること〉資源と産業、人間の暮らしに関する基礎的内容をワークシート等の課題で学習。資料集別冊の白地図で世界各地域の特徴を学習させる。	○	○	○	定期考査の成績に平常点を加味して評価する。 平常点は、課題等の提出状況・内容や日常の授業への取り組み姿勢をもってあてる。
三 学 期	第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 〔まとめ〕 共通テスト直前対策	21	世界の諸地域や近隣諸国とわが国の関係を有機的に結びつけて、世界と日本の繋がりを理解させる。 〈学校で学習すること〉生徒の取り組んだワークシートと白地図を利用して演習形式の授業を行い、我が国の国土像を考えさせる。	○	○	○	定期考査の成績に平常点を加味して評価する。 平常点は、課題等の提出状況・内容や日常の授業への取り組み姿勢をもってあてる。
		合計	〈家庭で学習すること〉世界と日本に関する基礎的内容をワークシート等の課題で学習。資料集別冊の白地図も学習させる。				
		105	・大学入試過去問演習 （問題および出題傾向分析と解答解説）				

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	地理歴史・日本史演習Ⅰ	5単位	対象学年	高校3年
教科書	『日本史探究 詳説日本史』山川出版社		教科担当者	
副教材	『新詳日本史』浜島書店 『詳説日本史史料集 再訂版』山川出版社			

目 標	【A：知識及び技能】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	【B：思考力、判断力、表現力等】 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	【C：学びに向う力、人間性等】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
-----	---	---	--

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	第Ⅳ部 近代・現代 第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立	65	・近世の幕末期から現代までを扱う。「歴史総合」の学習を踏まえた、世界の情勢の変化とその中における日本の相互の関係や、日本の近現代の歴史を、多面的・多角的に考察し理解できるようにする。	○	○	○	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
二 学 期	第Ⅳ部 近代・現代 第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本	75	・国際対立の激化の経過と二度の世界大戦との関連を考察させ、それらに我が国がどのように関わっていったのかを理解できるようにする。 ・これまでの学びを通して、現代の日本の課題を考察し、構想できるようにする。	○	○	○	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
三 学 期	教科書 第Ⅰ部～第Ⅳ部の復習	35 合計 175	・大学入試に備えて、各自の志望校の過去問演習を実施する。志望校の傾向と対策に基づいて、生徒それぞれの課題を準備作成し、個々に面接指導を行う。	○	○	○	提出課題

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	地理歴史・日本史演習Ⅱ	2単位	対象学年	高校3年
教科書	『日本史探究 詳説日本史』山川出版社		教科担当者	
副教材	『新詳日本史』浜島書店 『詳説日本史史料集 再訂版』山川出版社			

目 標	【A：知識及び技能】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	【B：思考力、判断力、表現力等】 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	【C：学びに向う力、人間性等】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
-----	---	---	--

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成 第4章 貴族政治の展開 第Ⅱ部 中世 第5章 院政と武士の躍進 第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長	26	・第Ⅰ部、第Ⅱ部の内容を復習し、理解を深める。 ・学んだことがらに関連する諸資料を読解する力を身に付ける。さらに、読み取ったことがらから歴史的事象の意味や意義、特色などをより深く理解して、多面的、多角的に考察する力を養う。 ・理解し考察した内容を的確に表現して、歴史に見られる課題を解決するために必要な資質を養う。	○	○	○	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
二 学 期	第Ⅲ部 近世 第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺 第Ⅳ部 近代・現代 第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本	30	・国際対立の激化の経過と二度の世界大戦との関連を考察させ、それらに我が国がどのように関わっていったのかを理解できるようにする。 ・これまでの学びを通して、現代の日本の課題を考察し、構想できるようにする。	○	○	○	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
三 学 期	教科書 第Ⅰ部～第Ⅳ部の復習	14	・大学入試に備えて、各自の志望校の過去問演習を実施する。志望校の傾向と対策に基づいて、生徒それぞれの課題を準備作成し、個々に面接指導を行う。	○	○	○	提出課題
		合計					
		70					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	地理歴史・世界史演習Ⅰ	5単位	対象学年	高校3年
教科書	『世界史探究 詳説世界史』山川出版社			
副教材	『最新世界史図説タベストーリー』帝国書院 『ウィニングコンパス世界史の整理と演習』とうほう 『世界史用語集』山川出版社			

目 標	【A：知識及び技能】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	【B：思考力、判断力、表現力等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	【C：学びに向う力、人間性等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
-----	--	--	--

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	第Ⅲ部 諸地域の結合・変容	65	・フランス革命中の国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解し、ナポレオンの支配に対する人々の反応を多面的・多角的に考察し表現する。 ・中南米諸国の独立運動とヨーロッパ情勢との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ウィーン会議の参加者たちがどのような国際秩序をめざしていたかを理解し、ウィーン体制を動揺させた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ・領土拡大がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現し、南北戦争において北部が勝利した要因を理解する。 ・帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現し、各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。 ・第一次世界大戦がもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ロシア革命の経緯を理解し、その歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。 ・第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯を理解する。 ・西欧諸国における第一次世界大戦後の展開を多面的・多角的に考察し表現する。	○	○	○	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
	第12章 産業革命と環大西洋革命						
	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成						
	第14章 アジア諸地域の動揺						
	第15章 帝国主義とアジアの民族運動						
	第16章 第一次世界大戦と世界の変容						
二 学 期	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	75	・国際対立の激化の経過と二度の世界大戦との関連を考察させる。 ・世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ファシズム諸国の攻勢が国際政治に与えた影響を理解し、開戦直前における各国のナチス＝ドイツへの対応を多面的・多角的に考察し表現する。 ・第二次世界大戦の終戦までの経緯を理解する。 ・独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・第一次世界大戦と比較したうえで、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 ・戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのかを理解する。 ・20世紀半ばからの冷戦の構造と経過を理解させる。 ・冷戦後に頻発する地域紛争や民族対立、経済格差の原因や構造について考察させ、これらの課題について解決していかうとする態度を育む。	○	○	○	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
	第Ⅳ部 地球世界の課題						
	第18章 冷戦と第三世界の台頭						
	第19章 冷戦の終結と今日の世界						
三 学 期	教科書 第Ⅰ部～第Ⅳ部の復習	35	・大学入試に備えて、各自の志望校の過去問演習を実施する。志望校の傾向と対策に基づいて、生徒それぞれの課題を準備作成し、個々に面接指導を行う。	○	○	○	提出課題
		合計					
		175					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	地理歴史・世界史演習Ⅱ	2単位	対象学年	高校3年
教科書	『世界史探究 詳説世界史』山川出版社		教科担当者	
副教材	『最新世界史図説タベストーリー』帝国書院 『ウィニングコンパス世界史の整理と演習』とうほう 『世界史用語集』山川出版社			

目 標	【A：知識及び技能】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	【B：思考力、判断力、表現力等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	【C：学びに向う力、人間性等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一学期	第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成 第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	26	・第Ⅰ部、第Ⅱ部の内容を復習し、理解を深める。 ・学んだことがらに関連する諸資料を読解する力を身に付ける。さらに、読み取ったことがらから歴史的事象の意味や意義、特色などをより深く理解して、多面的、多角的に考察する力を養う。 ・理解し考察した内容を的確に表現して、歴史に見られる課題を解決するために必要な資質を養う。	○	○	○	提出課題 発問評価 授業態度
	第Ⅱ部 諸地域の交流・再編 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国						
	第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジアの諸帝国の繁栄 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向		・第Ⅱ部、第Ⅲ部の内容を復習し、理解を深める。 ・学んだことがらに関連する諸資料を読解する力を身に付ける。さらに、読み取ったことがらから歴史的事象の意味や意義、特色などをより深く理解して、多面的、多角的に考察する力を養う。 ・理解し考察した内容を的確に表現して、歴史に見られる課題を解決するために必要な資質を養う。	○	○	○	
	第Ⅲ部 諸地域の結合・変容 第12章 産業革命と環大西洋革命 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 第14章 アジア諸地域の動揺 第15章 帝国主義とアジアの民族運動						
	教科書 第Ⅰ部～第Ⅳ部の復習	14	・大学入試に備えて、各自の志望校の過去問演習を実施する。志望校の傾向と対策に基づいて、生徒それぞれの課題を準備作成し、個々に面接指導を行う。	○	○	○	提出課題
		合計					
		70					
三学期							

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	公民・倫理	3単位	対象学年	高校3年
教科書	東京書籍「倫理」		教科担当者	
副教材	『テオリア最新倫理資料集』（第一学習社）			

目 標	【A：知識及び技能】 人間尊重の精神に基づいて、自己形成と人間としての在り方・生き方について理解・思索を深めさせるとともに、良識ある公民として必要な資質を養う。さらに、思想史を中心に大学入学共通テストに対応した学力を定着させる。	【B：思考力、判断力、表現力等】 先哲の教えや思想について、具体的・多面的に深く理解したものを深化・拡充させていくとともに、それらの現代的意義について思索を深め、思考・判断し、発表・表現できる力を養う。	【C：学びに向かう力、人間性等】 個々の教えや思想を、総合的・多角的に捉え直し、己の在り方生き方を見つめ問い直すために活用してくことで、理想の将来像に向けて、人間性や人格形成を育み、実践していこうとする態度を養う。
-----	--	---	---

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 第1章「人間の心のあり方」 1 人間とは何か 2 人間の心の働き 第2章「さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ」 1 哲学すること 2 ギリシャの思想 3 宗教と社会 4 キリスト教 5 イスラム 6 仏教 7 中国の思想 8 芸術 第3章「さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ」 1 近代と人間尊重の精神 2 近代思想の展開（経験論・合理論） 3 人格の尊厳と人倫の思想（カント・ヘーゲル） 4 社会変革の思想（功利主義・社会主義・実証主義） 5 理性への疑念（実存主義・精神分析） 6 人間観・言語観の問い直し（実存・構造主義） 7 他者・自然とのかかわり	39	・青年期の意義と課題、認知・感情・性格・発達心理学にみられる人間の知的活動の特徴について資料を読み取る力を身に付けさせ、内容を理解させる。 ・古代ギリシャ人が追求した理想的な人間の生き方や望ましい社会のあり方と自己の生き方との関連について理解させ、自己の生き方や社会のあり方について考えさせる。 ・三大宗教の思想や中国思想について理解を深め、人間としてのよりよい生き方や共同体のあり方、自己の人生の課題と結び付けて思索を深めさせる。 ・近代ヨーロッパの様々な思想について理解させ、人間の存在や価値、自身や世界の捉え方、社会のあり方と関わり方、主体性の確立について思索を深めさせる。 ・古今東西の先哲の思想に関する原典の日本語訳などの諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けさせる。	○	○	○	・定期考査 ・小テスト ・レポート課題 ・調べ学習課題 ・発表 など
二 学 期	第4章「国際社会に生きる日本人としての自覚」 1 日本人の精神風土 2 仏教と日本人の思想形成 3 儒教と日本人の思想形成 4 国学の思想 5 庶民の思想 6 西洋思想と日本人の近代化 7 国際社会に生きる日本人の自覚 第2編 現代の諸課題と倫理 大学入学共通テスト対応の演習	45	・日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己との関わりについて考察させる。 ・仏教の受容と日本の展開、儒教の受容、国学の形成と展開、庶民の思想、幕末の思想、日本の近代的思想、日本近代の創造的な思想について理解を深めさせ、それらが日本人の思想形成にどのように影響を及ぼしているかについて考察させる。 ・原典の口語訳などの諸資料から、必要な情報を読み取る技能を身に付けさせる。 ・各人の興味関心のあるテーマについて、人間の在り方生き方に関する見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の諸課題を探究する活動を通して、倫理で学んだ概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察させ、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述させる。	○	○	○	・定期考査 ・小テスト ・レポート課題 ・調べ学習課題 ・発表 など
三 学 期	大学入学共通テスト対応の演習 国公立大学二次試験対策としての論文演習	21	・全範囲のまとめ ・大学入学共通テストの過去問についての解答・解説 ・大学入試予想問題演習	○	○	○	・小テスト ・演習課題 など
		合計	・国公立大学二次試験対策としての論述問題の演習				
		105					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	公民・政治経済	3単位	対象学年	高校3年
教科書	『政治・経済』（数研出版）		教科担当者	
副教材	『政治・経済資料集2026』（東京法令出版）			

目 標	【A：知識及び技能】 広い視野に立って、政治・経済・国際社会について主体的に考察することのできる力を培い、民主的平和的な社会の有意な形成者としての必要な資質を養う。	【B：思考力、判断力、表現力等】 常に国内外の社会情勢や時事問題に関心を持ち、事実を基に多面的・多角的に考察し、分析・判断する力や、主権者としての自覚を持って社会参画しつつ、構想したことを発信・議論・行動する力を養う。	【C：学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚などを深める。
-----	---	--	--

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則 第2章 日本国憲法と民主主義 第3章 現代政治の現状と課題 第4章 国際政治と日本 第2編 現代の経済 第1章 経済社会の変容 第2章 現代経済のしくみ 第3章 国民経済と国際経済 第3編 現代社会の諸問題 第1章 現代日本の諸課題	39	・民主政治のしくみと役割を把握しながら、世界、日本の政治のしくみと動向について理解を深める。 また、地方自治、政党、選挙、行政権の肥大化など国内政治の具体的事例にふれながら、諸課題や問題点を批判的に考察する態度を培う。 ・経済の変容、しくみ、事象の基礎事項を学習し、経済分野への関心を高める。 ・国際経済のしくみと動向について、国民経済との関連に留意しつつ理解を深める。 ・時事的な問題についての議論を中心とした授業を実施し、生徒相互の議論と認識を深め、また、主体的な授業参加の態度を養う。	○	○	○	・定期考査 ・小テスト ・レポート課題 ・調べ学習課題 ・発表 など
	第2章 国際社会の諸課題 〔まとめ〕 国内政治分野の総復習 国際政治分野の総復習 国内経済分野の総復習 国際経済分野の総復習	45	・戦後日本経済を概観し、現代日本経済や社会のかかえる諸問題について考察を深める。 ・新聞・インターネットなどのメディアをとおして得られる諸資料などを用いて、社会現象を客観的事実にもとづいて分析・批判する能力を養う ・国際社会が直面する地球規模的な諸問題や、グローバル化の功罪についてその実態と原因を考え、問題解決の方途を探る。 ・小テストによる問題演習	○	○	○	・定期考査 ・小テスト ・レポート課題 ・調べ学習課題 ・発表 など
三 学 期	〔まとめ〕 共通テスト直前対策	21	・大学入試過去問演習 (問題および出題傾向分析と解答解説)	○	○	○	・小テスト ・演習課題 ・発表 など
		合計					
		105					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	数学・数学Ⅲ	4 単位	対象学年	高校3年
教科書	啓林館「深進数学Ⅲ」		教科担当者	
副教材	数研出版 体系数学 5			
	数研出版 体系問題集数学 5			
	数研出版 クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編			

目 標	【A：知識及び技能】 関数、極限、微分法、積分法における基本的な概念、原理、法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることを通して、関数、極限、微分法、積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。	【C：学びに向う力、人間性等】 関数、極限、微分法、積分法に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
-----	---	--	---

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	第5章 微分法 第6章 微分法の応用 第7章 積分法 第8章 積分法の応用 入試問題演習（発展的学習） ・実戦数学重要問題集	52	・数学Ⅱで学んだ、整式での微分積分の考えについて、微分積分学の概念をさらに深化させて拡張していく。 ・1クラス2展開による習熟度別授業より、幅を持った難易度での演習を行う。 ・微分積分学が科学的研究の多くの問題に対して有用な役割を果たしていることを深く学習する。 ・1クラス2展開による習熟度別授業より、幅を持たせた難易度での演習を行う。	○	○	○	定期考査 課題レポート
二 学 期	入試問題演習（発展的学習） ・クリアー数学演習Ⅲ・C受験編 ・実戦数学重要問題集 ・共通テスト実戦演習	60	・前年度の主な数学Ⅲの入試問題を抽出して、実際の入学試験問題に対応できる力を養う。 ・1クラス2展開による習熟度別授業より、幅を持った難易度での演習を行う。 ・過去問や類題を利用して時間内で解く実戦演習を行う。	○	○	○	定期考査 課題レポート
三 学 期	入試問題演習（発展的学習） ・共通テスト実戦演習	28	・過去問や類題を利用して時間内で解く実戦演習を行う。	○	○	○	定期考査 課題レポート
		合計					
		140					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	数学・数学C(理系数学Ⅲ履修者)	3単位	対象学年	高校3年
教科書	啓林館「深進数学C」		教科担当者	
副教材	数研出版 体系数学 5 数研出版 体系問題集数学 5 数研出版 クリアー数学演習Ⅲ・C受験編			

目 標	【A：知識及び技能】 複素数平面、式と曲線における基本的な概念、原理、法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることを通して、複素数平面、式と曲線における数学的な見方や考え方を身に付けている。	【C：学びに向う力、人間性等】 複素数平面、式と曲線に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
-----	--	---	--

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	第1章 複素数平面 1. 複素数平面 2. 複素数の極形式と乗法、除法 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形 第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	39	・複素数の実数倍、加法、減法、乗法、除法、共役な複素数や絶対値の図形的意味を理解し、活用できる。 ・ド・モアブルの定理を利用して、複素数の n 乗根の定義と図形的意味を理解し、極形式を用いて n 乗根を求めることができる。 ・複素数平面上で図形を考え、方程式を満たす図形を求めることができたり、種々の図形の性質の複素数を利用した証明が理解できたりする。 ・放物線、楕円、双曲線の方程式を理解し、2次曲線を解析幾何学的方法で考察することができる。 ・種々の曲線のパラメータ表示を理解し、媒介変数で表された曲線がどのような曲線であるかを考察できる。 ・極方程式で表された曲線と直交座標に関する方程式とを互いに言い換えることができ、2次曲線の回転と複素数平面との関係を理解する。	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート
二 学 期	入試問題演習（発展的学習） ・クリアー数学演習Ⅲ・C受験編 ・実戦数学重要問題集 ・共通テスト実戦演習	45	・数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bの大学入試問題を通して、実際の入学試験問題に対応できる力を養う。 ・1クラス2展開による習熟度別授業により幅をもった難易度での演習を行う。 ・共通テストの過去問や類題を利用して 時間内で解く実戦演習を行う。	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート
三 学 期	入試問題演習（発展的学習） ・共通テスト実戦演習	21	・共通テストの過去問や類題を利用して 時間内で解く実戦演習を行う。	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート
		合計					
		105					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	数学・数学C(理系数学Ⅲ非履修者)	3単位	対象学年	高校3年
教科書	啓林館「深進数学C」	教科担当者		
副教材	数研出版 「実戦数学重要問題集」 「クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B受験編」			

目 標	【A：知識及び技能】 数学における基本的な概念、原理、法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることを通して、各単元における数学的な見方や考え方を身に付けている。	【C：学びに向かう力、人間性等】 数学に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
-----	--	--	---

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	数学C「複素数平面」「式と曲線」 入試問題演習（発展的学習） ・数学重要問題集数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（文系） ・配布プリント	39	・入試演習を通じて問題への対応力の基礎を身につける。 ・基本的な知識を活用して様々な入試問題の解法の仕方を理解する。 ・その問題の背景となっている数学的な理論へのアプローチをしていく。	○	○	○	定期考査 課題レポート
二 学 期	入試問題演習（発展的学習） ・クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C受験編 ・数学重要問題集数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（文系） ・大学入学共通テスト試験実戦演習	45	・入試演習を通じて様々な問題への対応力を身につける。 ・その問題の背景となっている数学的な理論へのアプローチをする。 ・いくつかの分野から問題を抽出して、実際の入学試験に近い形での演習を行う。 ・大学入学共通テストの過去問や類題を利用して時間内で解く実戦演習を行う。	○	○	○	定期考査 課題レポート
三 学 期	入試問題演習（発展的学習） ・大学入学共通テスト実戦演習	21	・大学入学共通テストの過去問や類題を利用して時間内で解く実戦演習を行う。	○	○	○	定期考査 課題レポート
		合計					
		105					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	数学・数学C(A3)	3単位	対象学年	高校3年
教科書	啓林館「深進数学C」		教科担当者	
副教材	ニュースタANDARD 数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C			

目 標	【A：知識及び技能】 数学における基本的な概念、原理、法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることを通して、各単元における数学的な見方や考え方を身に付けている。	【C：学びに向かう力、人間性等】 数学に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
-----	---	---	--

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	ベクトル・ベクトルと平面図形・ベクトルと空間図形・複素数平面・2次曲線・媒介変数表示と極座標 (発展的な学習) 数と式・2次関数・集合と命題・図形と計量・データの分析・場合の数と確率・図形の性質・式と証明・高次方程式・図形と方程式・三角関数・指数と対数・微分と積分・数列・統計的な推測	39	・(予習)→グループでの解答検討→重要事項をまとめながらの解説→(復習)のサイクルで学習を進める。 ・生徒の知識・技能を伸ばすために、多くの問題を解かせることとする。 ・理解の足りない部分は、基本に立ち返り復習をさせる。1学期は基礎固めに重点を置いて学習させる。	○	○	○	・定期考査 ・課題レポート ・小テスト ・発表 など
二 学 期	入試問題演習(発展的学習) 共通テスト過去問と予想問題	45	・知っておくと問題解法に役立つ内容を織り込みながら、1・2年の授業で説明できない部分を補足する。 ・実際に出題された過去問から、重要な問題や内容を中心に学習する。	○	○	○	・定期考査 ・課題レポート ・小テスト ・発表 など
三 学 期	入試問題演習(発展的学習) 共通テスト過去問と予想問題	21	・直前演習として、最近の過去問を特集して行う。	○	○	○	・定期考査 ・課題レポート ・小テスト など
		合計					
		105					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	数学・数学C(B5)	3単位	対象学年	高校3年
教科書	啓林館「深進数学C」	教科担当者		
副教材	数研出版 「実戦数学重要問題集」 「クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B受験編」			

目 標	【A：知識及び技能】 数学における基本的な概念、原理、法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることを通して、各単元における数学的な見方や考え方を身に付けている。	【C：学びに向かう力、人間性等】 数学に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
-----	---	---	--

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	入試問題演習（発展的学習） ・クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C受験編 ・数学重要問題集数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（文系） ・配布プリント	39	・入試演習を通じて問題への対応力の基礎を身につける。 ・基本的な知識を活用して様々な入試問題の解法の仕方を理解する。 ・その問題の背景となっている数学的な理論へのアプローチをしていく。	○	○	○	定期考査 課題レポート
二 学 期	入試問題演習（発展的学習） ・クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C受験編 ・数学重要問題集数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（文系） ・大学入学共通テスト試験実戦演習	45	・入試演習を通じて様々な問題への対応力を身につける。 ・その問題の背景となっている数学的な理論へのアプローチをする。 ・いくつかの分野から問題を抽出して、実際の入学試験に近い形での演習を行う。 ・大学入学共通テストの過去問や類題を利用して時間内で解く実戦演習を行う。	○	○	○	定期考査 課題レポート
三 学 期	入試問題演習（発展的学習） ・大学入学共通テスト実戦演習	21	・大学入学共通テストの過去問や類題を利用して時間内で解く実戦演習を行う。	○	○	○	定期考査 課題レポート
		合計					
		105					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	数学・文系数学演習	2単位	対象学年	高校3年
教科書	啓林館「深進数学C」	教科担当者		
副教材	数研出版 「実戦数学重要問題集」 「クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B受験編」			

目 標	【A：知識及び技能】 数学における基本的な概念、原理、法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることを通して、各単元における数学的な見方や考え方を身に付けている。	【C：学びに向う力、人間性等】 数学に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
-----	---	---	---

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	入試問題演習（発展的学習） ・クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C受験編 ・数学重要問題集数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（文系） ・配布プリント	26	・入試演習を通じて問題への対応力の基礎を身につける。 ・基本的な知識を活用して様々な入試問題の解法の仕方を理解する。 ・その問題の背景となっている数学的な理論へのアプローチをしていく。	○	○	○	定期考査 課題レポート
二 学 期	入試問題演習（発展的学習） ・クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C受験編 ・数学重要問題集数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（文系） ・大学入学共通テスト試験実戦演習	30	・入試演習を通じて様々な問題への対応力を身につける。 ・その問題の背景となっている数学的な理論へのアプローチをする。 ・いくつかの分野から問題を抽出して、実際の入学試験に近い形での演習を行う。 ・大学入学共通テストの過去問や類題を利用して時間内で解く実戦演習を行う。	○	○	○	定期考査 課題レポート
三 学 期	入試問題演習（発展的学習） ・大学入学共通テスト実戦演習	14	・大学入学共通テストの過去問や類題を利用して時間内で解く実戦演習を行う。	○	○	○	定期考査 課題レポート
		合計					
		70					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	数学・理系数学演習	4 単位	対象学年	高校3年
教科書	啓林館「深進数学C」	教科担当者		
副教材	数研出版 「実戦数学重要問題集」 「クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B受験編」			

目 標	【A：知識及び技能】 数学における基本的な概念、原理、法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることを通して、各単元における数学的な見方や考え方を身に付けている。	【C：学びに向う力、人間性等】 数学に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
-----	---	---	---

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	入試問題演習（発展的学習） ・クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C受験編 ・数学重要問題集数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（文系） ・配布プリント	54	・入試演習を通じて問題への対応力の基礎を身につける。 ・基本的な知識を活用して様々な入試問題の解法の仕方を理解する。 ・その問題の背景となっている数学的な理論へのアプローチをしていく。	○	○	○	定期考査 課題レポート
二 学 期	入試問題演習（発展的学習） ・クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C受験編 ・数学重要問題集数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（文系） ・大学入学共通テスト試験実戦演習	60	・入試演習を通じて様々な問題への対応力を身につける。 ・その問題の背景となっている数学的な理論へのアプローチをする。 ・いくつかの分野から問題を抽出して、実際の入学試験に近い形での演習を行う。 ・大学入学共通テストの過去問や類題を利用して時間内で解く実戦演習を行う。	○	○	○	定期考査 課題レポート
三 学 期	入試問題演習（発展的学習） ・大学入学共通テスト実戦演習	26	・大学入学共通テストの過去問や類題を利用して時間内で解く実戦演習を行う。	○	○	○	定期考査 課題レポート
		合計					
		140					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	理科・化学	6単位	対象学年	高校3年
教科書	第一学習社『高等学校 化学』		教科担当者	
副教材	第一学習社『セミナー化学基礎・化学』			

目 標	【A：知識及び技能】 化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 化学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	【C：学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
-----	---	---	--

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	・気体の性質 ・溶液の性質 ・化学反応とエネルギー 反応エンタルピー ヘスの法則、結合エネルギー ・反応速度と平衡 溶解平衡 電離平衡 溶解度積 ・有機化合物 炭化水素 アルコールと関連化合物 芳香族化合物	78	・化学結合、三態、溶液では発展として結晶構造、気体法則他にも触れる。 ・特に燃焼熱に注目し、エネルギー資源とその利用に目を向けさせる。 ・反応速度、平衡定数の数値的取扱に精通する。 ・平衡状態の具体例を多く取り扱い、個々の物質に関する理解も深める。 ・有機化合物について理解する。 構造と分類、性質・反応の関連性を理解する。 ・発展として高分子化合物、生活・生命関連物質についても触れる。 ・有機化合物総合問題への習熟を目指す。 ・物質の構造と性質の関連を理解する。	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート、 グループ発表 など
二 学 期	・高分子化合物 天然高分子化合物 合成高分子化合物 高分子化合物と人間生活 ・無機物質 非金属元素と周期表 金属元素 典型金属元素 遷移金属元素 陽イオン分離	90	・高分子化合物の成り立ちと特徴を学ぶ。 ・衣食住あらゆる分野に化学物質がその特徴を生かして使われていることを知る。 ・生命関連物質とその働きについて学ぶ。 ・物質それぞれに関する学習では、酸化還元、反応速度など多面的に取り扱う。 ・物質それぞれに関する学習を通し、溶解平衡・電離平衡・化学平衡についても学ぶ。 ・金属元素について理解する。 ・周期表との関連について確認する ・金属の利用と分析に関する問題への精通を目指す。 ・「化学」の視点を加味しながら、共通テスト対応問題で実力養成をはかる。	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート、 グループ発表 など
三 学 期	入試問題 大学入試共通テスト対策	42	・大学入試共通テスト、入試問題演習を行う。	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート、 グループ発表 など
		合計					
		210					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	理科・生物	6単位	対象学年	高校3年
教科書	東京書籍「生物」	教科担当者		
副教材	第一学習社「二訂版スクエア最新図説生物」 第一学習社「2026セミナー生物」			

目 標	【A：知識及び技能】 日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見だし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究している。	【C：学びに向う力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与しようとしている。
-----	---	---	--

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	1編 生物の進化	78	○生物の進化の過程とその仕組み及び生物の系統について観察などを通して探究し、生物界の多様性と系統を理解させ進化についての考え方を身につける。	○	○	○	授業態度 発問発表評価 定期考査 実験レポート 課題レポートなど
	1章 生命の起源と細胞の進化		○DNAの塩基配列に変化が生じたときに、形質に変異が起こるしくみを探究することで、遺伝的変異が進化のしくみと深く関わっていることを理解する。				
	2章 遺伝子の変化と進化の仕組み		○分子情報に基づく系統のしくみを理解しつつ、ヒトの出現と進化について整理する。				
	3章 生物の系統と進化		○生命現象を支える物質のはたらきについて観察・実験などを通して探究し、タンパク質などの物質のはたらきを理解させ、生命現象を分子レベルで理解する。				
	2編 生命現象と物質		○脱水素酵素の働き、アルコール発酵および光合成速度の測定の実験等を通して探究し、呼吸・発酵・光合成という生物の代謝とエネルギーについて理解する。				
	1章 細胞と物質						
	2章 代謝とエネルギー						
二 学 期	3編 遺伝情報の発現と発生	90	○DNAの複製のしくみ、遺伝子の発現やその調節のしくみ、遺伝情報の変化について、原核生物と真核生物に分けて整理し、理解する。	○	○	○	授業態度 発問発表評価 定期考査 実験レポート 課題レポートなど
	1章 遺伝情報とその発現		○生物の生殖や発生について、観察・実験などを通して探究し、動物と植物の配偶子形成から形態形成までの仕組みを遺伝子発現という側面から理解する。				
	2章 発生と遺伝子発現		○大腸菌にオワンクラゲの緑色蛍光タンパク質(GFP)遺伝子を導入する実験を通じて、遺伝子を扱ったバイオテクノロジーの技術について探究し、その原理と有用性を理解する。				
	3章 遺伝子を扱う技術		○環境の変化に動物が反応していることについて観察・実験などを通して探究し、動物個体が外界の変化を感知し、神経系で情報を処理・伝達し、反応するしくみについて理解する。				
	4編 生物の環境応答		○動物の行動について科学的に探究し、走性・学習等の動物の行動について整理する。				
	1章 動物の刺激の受容と反応		○植物ホルモン「オーキシン」の濃度変化による胚軸伸長の変化の実験等を通して植物の環境応答について探究し、植物の生殖・発生、植物ホルモン、光発芽、花芽形成等について理解する。				
	2章 動物の行動						
三 学 期	5編 生態と環境	42	○生物の個体群と群集及び生態系について観察・実験などを通して探究し、それらの構造や変化のしくみを理解させ、生態系のバランスや生物多様性の重要性について認識させる。	○	○	○	授業態度 発問発表評価 定期考査 実験レポート 課題レポートなど
	1章 個体群と生物群集	合計	○問題演習によって応用力・記述力を養成し、解答力を鍛える。				
	2章 生態系の物質生産と物質循環	210					
	3章 生態系と人間生活						
	問題演習						

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	理科・物理演習	2単位	対象学年	高校3年
教科書	数研出版「物理」	教科担当者		
副教材	数研出版 「2026 物理重要問題集 物理基礎・物理」 プリント			

目 標	【A：知識及び技能】 知識の習得や知識の概念的な理解，実験操作の基本的な技術の習得ができていますか。	【B：思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。	【C：学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において，粘り強く学習に取り組んでいるか，自ら学習を調整しようとしている
-----	---	---	--

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	第4編 電気と磁気 第4章 電磁誘導と電磁波 1. 電磁誘導の法則 2. 自己誘導と相互誘導 3. 交流の発生 4. 交流回路 5. 電磁波	26	・ファラデーの電磁誘導の法則を学習し，磁場中を動く導体に生じる起電力や，導体を動かすのに要する力や仕事の関係を理解する。 ・原子の構造とボーアの水素原子モデルを理解させ、水素原子のスペクトルについて理解する。 ・放射性崩壊における特徴と原子核の安定性について理解する。 ・核反応について学習し，反応の際に放出，吸収されるエネルギーを理解する。 ・素粒子の概要について理解する。	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート など
	第5編 原子 第2章 原子と原子核 1. 原子の構造とエネルギー準位 2. 原子核 3. 放射線とその性質 4. 核反応と核エネルギー 5. 素粒子						
二 学 期	第1編 力と運動 第2編 熱と気体 第3編 波 第4編 電気と磁気	30	・昨年度，授業で触れられなかった発展的内容の解説を行う。 必要に応じて小テストを実施する。	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート など
三 学 期	(共通試験対策)	14	・マーク問題対策の問題演習を行う。 ・新傾向問題の対策問題演習を行う。	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート など
		合計					
		70					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	理科・化学演習	2単位	対象学年	高校3年
教科書	第一学習社『高等学校 化学』		教科担当者	
副教材	数研出版『2026化学重要問題集』 実教出版『サイエンスビュー 新化学資料 新課程対応』			

目 標	【A：知識及び技能】 化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 化学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	【C：学びに向う力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
--------	--	--	--

学 期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	物質の構造	26	① 物質の構成粒子と化学の基礎法則	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート、 グループ発表 など
	物質の変化とエネルギー		② 化学量と化学反応式				
	理論化学		③ 化学結合と物質の構造				
	有機化合物		④ 酸化・還元と電池・電解 ⑤ 化学反応とエネルギー ⑥ 物質の三態・気体の法則 ⑦ 溶液の性質 ⑧ 反応の速さと化学平衡 ⑨ 酸と塩基の反応 ⑩ 脂肪族化合物 ⑪ 芳香族化合物				
二 学 期	有機化合物 無機物質	30	⑫ 有機化合物の構造解析	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート、 グループ発表 など
	高分子化合物 入試問題		⑬ 非金属元素 ⑭ 金属元素 ⑮ 無機物質の性質・反応 ⑯ 天然高分子化合物 ⑰ 合成高分子化合物 入試問題演習 共通テスト対策演習				
三 学 期	入試問題	14	入試問題演習 国公立・私大入試問題演習	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート、 グループ発表 など
		合計					
		70					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	理科・物理基礎演習Ⅰ	1単位	対象学年	高校3年
教科書	物理基礎（数研出版）	教科担当者		
副教材	リードα 物理基礎（数研出版）			

目標	【A：知識及び技能】 知識の習得や知識の概念的な理解，実験操作の基本的な技術の習得ができていますか。	【B：思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。	【C：学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において，粘り強く学習に取り組んでいるか，自ら学習を調整しようとしている
----	---	---	--

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一学期	◇物質と電気 ・電気の性質 ・電流と電気抵抗 ・電気とエネルギー ◇磁場と交流 ・電流と磁場 ・交流と電磁波 ◇波の性質 ・波と媒質の振動 ・波の伝わり方 ◇音 ・音の性質 ・発音体の振動と共振	13	「物理基礎」電気と波分野の速習	○	○	○	提出物（問題集・ノート）、小テスト など
二学期	◇共通テストの過去問と予想問題、復習	15	演習を通して「物理基礎」全分野の復習を行う。 本番を想定して共通テストレベルの問題演習を行う。	○	○	○	提出物（問題集・ノート）、小テスト など
三学期	◇共通テストの過去問と予想問題、復習	7	2学期と同様	○	○	○	提出物（問題集・ノート）、小テスト など
		合計					
		35					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	理科・化学基礎演習Ⅰ	1単位	対象学年	高校3年
教科書	第一学習社『高等学校 化学基礎』		教科担当者	
副教材	実教出版『サイエンスビュー化学総合資料』 数研出版『大学入学共通テスト対策・チェック＆演習 化学基礎』			

目 標	【A：知識及び技能】 日常生活や社会との関連を図りながら、化学現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	【C：学びに向う力、人間性等】 化学現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
-----	--	---	---

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	物質の構成と化学結合 物質の構成 物質の構成粒子 粒子の結合 物質の変化 物質量と化学反応式 酸と塩基 酸化と還元 日常生活に関連した化学 化学実験の基礎	13	演習を通して、化学基礎の復習を行う。 ① 物質の構成と化学結合 1 ② 物質の構成と化学結合 2 ③ 物質量と化学反応式 1 ④ 物質量と化学反応式 2 ⑤ 酸と塩基 1 ⑥ 酸と塩基 2 ⑦ 酸化と還元 1 ⑧ 酸化と還元 2 ⑨ 日常生活に関連した化学・化学実験の基礎 ⑩ 物質の変化	○	○	○	定期考査、 提出物、 小テスト など
二 学 期	物質の構成と化学結合 物質の構成 物質の構成粒子 粒子の結合 物質の変化 物質量と化学反応式 酸と塩基 酸化と還元 日常生活に関連した化学 化学実験の基礎 入試問題	15	演習を通して、化学基礎の復習を繰り返し行う。 ① 物質の構成と化学結合 1 ② 物質の構成と化学結合 2 ③ 物質量と化学反応式 1 ④ 物質量と化学反応式 2 ⑤ 酸と塩基 1 ⑥ 酸と塩基 2 ⑦ 酸化と還元 1 ⑧ 酸化と還元 2 ⑨ 日常生活に関連した化学・化学実験の基礎 ⑩ 物質の変化 大学入学共通テスト対策の問題演習を行う	○	○	○	定期考査、 提出物、 小テスト など
三 学 期	大学入学共通テスト対策演習 実践型問題演習	7	本番を想定して共通テストの問題演習を行う。	○	○	○	授業態度など
		合計					
		35					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	理科・生物基礎演習Ⅰ	1単位	対象学年	高校3年
教科書	東京書籍「生物基礎」	教科担当者		
副教材	第一学習社「二訂版スクエア最新図説生物」 数研出版「大学入学共通テスト対策・チェック＆演習 生物基礎」			

目 標	【A：知識及び技能】 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	【C：学びに向う力、人間性等】 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 2章 生物とエネルギー 2編 遺伝子とそのはたらき 1章 遺伝情報とDNA 2章 3章 遺伝情報とタンパク質 3編 ヒトの体の調節 1章 体内環境と情報伝達	13	○問題集の問題をあらかじめ解いてから授業に臨むように指導し、授業では解説を中心に行う。 ○問題の解説だけでなく、その問題に変わる周辺知識も随時説明し、「生物基礎」に関わる全容に関して、つながりを持って理解させるよう努める。 ○解説しながらも、随時生徒に質問し、緊張感を持って授業に臨めるように工夫する。 ○生徒自身にも解説させる機会を作ることで曖昧な部分をなくし、記憶の定着をはかる。	○	○	○	授業態度 発問発表評価 課題レポートなど
	2章 免疫のはたらき 4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移 2章 生態系と生物の多様性 大学入学共通テスト 実践型問題演習	15	○基本的には、1学期と同様に実施する。 ○二学期後半には、大学入学共通テストと同様の形式・時間配分で問題を解き、実践力を養う。 ○大学入学共通テスト演習は毎回点数の記録を付け、達成感を持ちながら演習ができるように工夫する。	○	○	○	授業態度 発問発表評価 課題レポートなど
三 学 期	大学入学共通テスト 実践型問題演習	7	○二学期後半と同様に問題演習を行う。				
		合計		○	○	○	授業態度など
		35					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	理科・生物基礎演習Ⅱ	1単位	対象学年	高校3年
教科書	東京書籍「生物基礎」	教科担当者		
副教材	第一学習社「二訂版スクエア最新図説生物」 数研出版「大学入学共通テスト対策・チェック＆演習 生物基礎」			

目 標	【A：知識及び技能】 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	【C：学びに向う力、人間性等】 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
-----	---	---	--

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 2章 生物とエネルギー	13	○問題集の問題をあらかじめ解いてから授業に臨むように指導し、授業では解説を中心に行う。 ○問題の解説だけでなく、その問題に変わる周辺知識も随時説明し、「生物基礎」に関わる全容に関して、つながりを持って理解させるよう努める。 ○解説しながらも、随時生徒に質問し、緊張感を持って授業に臨めるように工夫する。	○	○	○	授業態度 発問発表評価 課題レポートなど
	2編 遺伝子とそのはたらき 1章 遺伝情報とDNA 2章 3章 遺伝情報とタンパク質		○生徒自身にも解説させる機会を作ることによって曖昧な部分をなくし、記憶の定着をはかる。				
二 学 期	2章 免疫のはたらき 4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移 2章 生態系と生物の多様性	15	○基本的には、1学期と同様に実施する。 ○二学期後半には、大学入学共通テストと同様の形式・時間配分で問題を解き、実践力を養う。 ○大学入学共通テスト演習は毎回点数の記録を付け、達成感を持ちながら演習ができるように工夫する。	○	○	○	授業態度 発問発表評価 課題レポートなど
	大学入学共通テスト 実践型問題演習						
三 学 期	大学入学共通テスト 実践型問題演習	7	○二学期後半と同様に問題演習を行う。	○	○	○	授業態度など
		合計					
		35					

令和 8 年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	理科・地学基礎演習Ⅱ	1 単位	対象学年	高校3年
教科書	啓林館「高等学校 地学基礎」	教科担当者		
副教材	浜島書店「二訂版ニューステージ地学図表」 実教出版「ビジュアルプラス 地学基礎ノート 改訂版」 啓林館「高等学校 地学」			

目 標	【A：知識及び技能】 観察、実験などを行い、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方につながる知識と技能を養う。特に1年次の内容を復習して、理解を深める。	【B：思考力、判断力、表現力等】 科学の方法に従った観察、実験などを行い、それらの報告書や発表を通じて地学的に探究する能力を養う。特に、観察・実験および問題演習によって思考力を高める。	【C：学びに向う力、人間性等】 日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって学習活動を行わせ、地学的に探究する態度を育てる。

学 期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	宇宙の構成 太陽系と太陽 恒星としての太陽の進化 銀河系と宇宙大気と海洋 大気の大気 太陽放射と大気・海水の運動 日本で見られる季節の気象 (自然との共生)	13	太陽活動と太陽系 ○ 太陽－地球系の環境についてネット公開情報も扱う。 ○ 恒星の進化を扱い、H R 図の理解をもとに宇宙の成り立ちを考えさせる。 ○ 宇宙の広がりをその観測の視点から扱う。大気の構造と熱収支 ○ 大気・海洋のエネルギー循環、大気大循環（について深め、環境問題の理解を深める。	○	○	○	・評価Aは、主に小テストと実験・観察実習で総合的に評価する。 ・評価Bは、主に授業中の課題における論述と実習報告書、レポート等の内容で評価する。 ・評価Cは、講義や実習の取り組みやその成果物から総合的に評価する。
	移り変わる地球 地球史の読み方 地球と生命の進化 (自然との共生) 固体地球とその変動 地球の概観 地球の内部構造 地震波 地球の内部構造 プレートと地球の活動 地震と火山活動		火成岩 ○ 鉱物と火成岩の分類について復習する。 堆積岩・変成岩 ○ 地質構造と地史の組み立てを総合的に学ぶ。 ○ 基礎知識の融合を通して地学的な時空間スケールの理解を深める。 地球の形状 地震波を用いた地球内部構造 地球内部のエネルギー ○ 大学入学共通テスト問題を中心に1年次に深く学んだこの領域を復習する。				・評価Aは、主に小テストと実験・観察実習で総合的に評価する。 ・評価Bは、主に授業中の課題における論述と実習報告書、レポート等の内容で評価する。 ・評価Cは、講義や実習の取り組みやその成果物から総合的に評価する。
三 学 期	問題演習	7	○ 大学入学共通テスト問題を中心に演習する。	○	○	○	・評価Aは、主に小テストと実験・観察実習で総合的に評価する。 ・評価Bは、主に授業中の課題における論述と実習報告書、レポート等の内容で評価する。 ・評価Cは、講義や実習の取り組みやその成果物から総合的に評価する。
		合計					
		35					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	保健体育・体育	3単位	対象学年	高校3年
教科書	大修館 「新高等保健体育」(改訂版)		教科担当者	
副教材				

目 標	【A：知識及び技能】 実践種目の技能向上、実技種目のタイム向上を目指し、体力の向上を身に付ける。各種目の運動特性を理解し、知識を身に付ける。	【B：思考力、判断力、表現力等】 自己の能力に適した運動の課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫させる。	【C：学びに向かう力、人間性等】 自ら進んで運動を実施し、運動の楽しさや喜びを体得させる。生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる。
-----	--	---	--

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	A B 体づくり運動 // (新体力テスト) // ソフトボール サッカー バドミントン テニス 卓球 バスケット 体育理論	39	◎各種目でグループを作り、グループの中で練習課題を設定し練習計画を立てて実践する。ゲームについても立案、計画し運営する。 ◎施設、希望等を考え、なるべく偏らないグループ作成をおこなう。 ◎グループの協力と安全な練習方法等を特に留意して指導する。 ◎体ほぐしの意義と体力の高め方 ・体ほぐしの意義と行い方	○	○	○	スキルテスト 授業ノート 授業観察 (実技種目への振り返り 実技種目への自主的な 取り組み 課題解決への態度) 出席状況など
二 学 期	A B バレーボール 1学期と同じ バドミントン 卓球 *1学期と違う種目 体育理論	45	◎各種目でグループを作り、グループの中で練習課題を設定し練習計画を立てて実践する。ゲームについても立案、計画し運営する。 ◎施設、希望等を考え、なるべく偏らないグループ作成をおこなう。 ◎グループの協力と安全な練習方法等を特に留意して指導する。 ◎体ほぐしの意義と体力の高め方 ・自己の体力や生活に応じた体力の高め方	○	○	○	スキルテスト 授業ノート 授業観察 (実技種目への振り返り 実技種目への自主的な 取り組み 課題解決への態度) 出席状況など
三 学 期	A B 2学期の継続 2学期の継続	21	◎各種目でグループを作り、グループの中で練習課題を設定し練習計画を立てて実践する。ゲームについても立案、計画し運営する。 ◎施設、希望等を考え、なるべく偏らないグループ作成をおこなう。 ◎グループの協力と安全な練習方法等を特に留意して指導する。	○	○	○	スキルテスト 授業ノート 授業観察 (実技種目への振り返り 実技種目への自主的な 取り組み 課題解決への態度) 出席状況など
		合計					
		105					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	外国語・英語コミュニケーションⅢ	4単位	対象学年	高校3年
教科書	ELEMENT English CommunicationⅢ		教科担当者	
副教材	(S)ELEMENT English CommunicationⅢ[啓林館] ELEMENTⅢ サブノート[啓林館] 共通テストリーディング分野別 [エミル] 2度聴き精聴トレーニング 三訂版 [旺文社] (S1) Cutting Edge Orange 大学入試長文読解問題集[エミル出版] SKYWARD-COSMOS [桐原書店] (S2) 2026 大学入学共通テスト(英語リーディング)対策 Reach 40[美誠社] 2026 大学入学共通テスト(英語リスニング)対策Reach 30[美誠社] 共通テスト英語模擬演習 40min. 2027 [エミル]			

目 標	【A：知識及び技能】 習得すべき文法知識や語法を正しく理解した上で、それらを場面に応じ適切に用いて、表現活動を行うことができるようになること。	【B：思考力、判断力、表現力等】 プレゼンテーションや討論の場面で、身のまわりや世界で起きている話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話し伝えることができるようになること。	【C：学びに向う力、人間性等】 学習した内容を基に、事実や自分の考えなどを自立的に話して伝え合おうとしたり、学習した内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、他者と議論する場を積極的に構築する態度を養うこと。
-----	--	---	---

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	ELEMENT English CommunicationⅢ Lesson 1～4 2度聴き精聴トレーニング 1回～7回 Cutting Edge Orange UNIT 1 - 8 SKYWARD -COSMOS UNIT 1 - 8 大学入学共通テスト 第1回A～第3回B	52	<エネルギー><環境><健康と生活>〈技術〉 についての英文を使い、4技能を高め、実践的コミュニケーション能力を育てる指導を行う。 共通テストの問題形式に慣れさせるとともに、本番でより高得点が取れるように演習を行う。	○	○	○	定期考査、本文学習ノート、グループ発表など
二 学 期	ELEMENT English CommunicationⅢ Lesson 5～9 SKYWARD -COSMOS UNIT 9 - 18 Cutting Edge Orange UNIT 9 - 19 2度聴き精聴トレーニング 9回～17回 大学入学共通テスト 第4回A～第5回B	60	<多様性><教育><自然><持続可能な発展><芸術>についての英文を使い、4技能を高め、実践的コミュニケーション能力を育てる指導を行う。 共通テストの問題形式に慣れさせるとともに、本番でより高得点が取れるように演習を行う。	○	○	○	定期考査、グループ発表、個人発表など
三 学 期	ELEMENT English CommunicationⅢ Lesson 10 2度聴き精聴トレーニング 18回～20回 Cutting Edge Orange UNIT 20 大学入試問題	28	<人間関係>についての英文を使い、4技能を高め、実践的コミュニケーション能力を育てる指導を行う。 共通テストの問題形式に慣れさせるとともに、本番でより高得点が取れるように演習を行う。	○	○	○	定期考査、グループ発表、個人発表など
		合計					
		140					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	外国語・論理表現Ⅲ	2単位	対象学年	高校3年
教科書	CROWN Logic ExpressionⅢ	教科担当者		
副教材	(W)入試必携英作文Write to the Point [数研出版] (G)大学入試 ランダムチェック The Reflex [桐原書店] 英語の構文150 [美誠社] 新 英語の構文150 解釈&表現 活用ワークブック [美誠社]			

目 標	【A：知識及び技能】 表現形式と機能を理解した上で、伝えたい事柄について、話しかけたり例を挙げるやり取りの表現の機能に留意しながら、既習の文法知識を活用して、自分の考えを伝え合う技能を身に付ける	【B：思考力、判断力、表現力等】 アイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して表現して伝えたり、相手からの質問に回答したりできる。またアイデアや情報の中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意しながら、既習の文法知識を活用して、聞き手を意識したスピーチができる。	【C：学びに向う力、人間性等】 主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、1学年時に学習した基礎的な英文法をさらに定着させ、それを活用して主体的に表現して伝えようとしたり、相手からの質問に回答することができる。
-----	---	---	--

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	Writing Write to the Point 1～9 大学入試 ランダムチェック The Reflex Unit1～Unit7 新 英語の構文150 解釈&表現 活用ワークブック 第1回～第9回	26	<主語の決定>、<目的・理由の表現>、<時制>、<動詞の語法>、<関係詞>、<時間の表現>等の項目を中心に、与えられた日本語を自然な英語に直して表現する。 演習問題を解く事で英文法・語法の総仕上げを行う。	○	○	○	定期考査、グループ発表、個人発表など
二 学 期	Writing Write to the Point 10～18 大学入試 ランダムチェック The Reflex Unit8～Unit17 新 英語の構文150 解釈&表現 活用ワークブック 第10回～第18回	30	<数字の表現>、<仮定・条件>、<比較>、<譲歩>、<重要表現><Aは…だ>等の項目を中心に、与えられた日本語を自然な英語に直して表現する。 演習問題を解く事で英文法・語法の総仕上げを行う。	○	○	○	定期考査、グループ発表、個人発表など
三 学 期	大学入試問題	14	演習問題を解く事で英文法・語法の総仕上げを行う。	○	○	○	定期考査、グループ発表、個人発表など
		合計					
		70					

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	外国語・英語特講	3単位	対象学年	高校3年
教科書	教科担当者			
副教材	NEO 現代を読む 3rd Edition CNN Comprehensive Trainer			

目 標	【A：知識及び技能】 現代人として必要な世界レベルの知識を多方面から学ぶ。「読む」「書く」力を重点的に養い、自ら考える力を育てる。	【B：思考力、判断力、表現力等】 長文や新聞記事などを読み、要点をまとめたり、自己の考えを整理し表現する力を養う。	【C：学びに向かう力、人間性等】 長文や新聞記事等時事問題に触れる中で、自ら学び解決する力をつけ、行動できる人間を育てる。
-----	---	---	---

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	【NEO現代を読む】 History, Language, Education, Culture, Life, Society, Nature, Scienceの各カテゴリーからいくつか選択 【CNN Comprehensive Trainer】 STAGE 1 ★その他（入試過去問題、英字新聞等からの文章）	39	①言語活動の取り組み状況の観察（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ②パフォーマンステスト [Oral Presentation、ライティング]（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ③上記課題等の提出（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ④中間・期末考査、評価問題など（知識・技能、思考・判断・表現）	○	○	○	定期考査 ワークブックの提出 小テスト 課題レポート（英作文）など
二 学 期	【NEO現代を読む】 History, Language, Education, Culture, Life, Society, Nature, Scienceの各カテゴリーからいくつか選択 【CNN Comprehensive Trainer】 STAGE 1 ★その他（入試過去問題、英字新聞等からの文章）	45	①言語活動の取り組み状況の観察（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ②パフォーマンステスト [Oral Presentation、ライティング]（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ③上記課題等の提出（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ④中間・期末考査、評価問題など（知識・技能、思考・判断・表現）	○	○	○	定期考査 ワークブックの提出 小テスト 課題レポート（英作文）など
三 学 期	【NEO現代を読む】 History, Language, Education, Culture, Life, Society, Nature, Scienceの各カテゴリーからいくつか選択 ★その他（入試過去問題、英字新聞等からの文章）	21	①言語活動の取り組み状況の観察（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ②パフォーマンステスト [Oral Presentation、ライティング]（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）	○	○	○	定期考査 ワークブックの提出 小テスト 課題レポート（英作文）など
		合計	③上記課題等の提出（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）				
		105	④中間・期末考査、評価問題など（知識・技能、思考・判断・表現）				

令和8年度 年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	情報・情報演習	1単位	対象学年	高校3年
教科書	実教出版 高校情報Ⅰ Python		教科担当者	
副教材	啓林館 大学入学共通テスト対策問題集 情報Ⅰ with Smart Lecture			

目 標	【A：知識及び技能】 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響に関する知識、技能について復習をし、共通テストに活用できる知識を醸成する。	【B：思考力、判断力、表現力等】 情報を活用して問題を解決するための思考力、必要な情報や解決の方法などを比較し選択するための判断力、相手や状況に応じて情報を伝えるための表現力について復習をしながら思考力を身に付ける。	【C：学びに向う力、人間性等】 情報を多面的・多角的に吟味し見定めていく力、情報モラルや情報に対する責任について考えようとする態度を身に付ける。
-----	--	--	--

学 期	単 元	時 間	指導内容・留意点等	評価基準			評価方法
				A	B	C	
一 学 期	コンピュータとプログラミング	13	アルゴリズムの各種の表現方法や、関数を用いたプログラムで表現する方法を、共通テストのプログラミング言語表記で理解する。応用問題を通して実践力をつける。	○	○	○	授業 実習課題 小テスト
	情報社会の問題解決 コミュニケーションと情報デザイン		情報社会における様々な技術、問題解決の考え方や流れ・方法、知的財産や個人情報に関する法制度の目的や、各種権利の内容、「コミュニケーション」や「メディア」の概念、各種のメディアの特性を理解し、問題演習を通して、知識の定着をさせる。 対象や目的を意識した情報デザインの考え方と、情報デザインにおける抽象化・構造化・可視化とその事例を理解する。				
二 学 期	情報通信ネットワークとデータの活用	15	基数変換やデータの計算量、文字・画像・音声・動画をデジタル表現するための考え方に関する知識の定着をさせる。 ネットワークを通して通信を行うための仕組みや構成に関する知識の定着を図る。	○	○	○	授業 実習課題 小テスト
	総合演習		データの分類や収集方法、分析方法について、実践問題を通して、共通テストに対する対策をする。				
三 学 期	模擬問題による演習	7	実践演習の総まとめ 共通テストの解法のコツを理解する。	○	○	○	授業 実習課題 小テスト
		合計					
		35					